

第 642 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

中部 4 局共同制作番組「佐藤隆太のおいしい寿司が食べたい」
(放送日時：10 月 8 日(月)午後 3 時 50 分～4 時 45 分)



平成 30 年 11 月 29 日

BSn新潟放送

第642回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成30年11月29日（木）午前11:00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F

3. 委員の出席

○委員側出席者（敬称略・順不同）

委員長 古賀 豊

副委員長 佐藤 元

委員 石坂 智恵美

委員 小島 良子

委員 高木 言芳

委員 渡邊 信子

○審議番組事前レポート提出

委員 池田 幸博

○委員側欠席者（敬称略・順不同）

委員 細田 康

委員 服部 誠司

委員 小原 清文

○放送事業者側出席者

社長 佐藤 隆夫

常務取締役 島田 好久

放送本部長 小原 弘志

営業本部長 金田 博幸

編成局長 増山 由美子

情報センター長 丹羽 崇

<説明員> テレビ制作部 平澤 正

事務局 阿部 基行（放送本部 テレビ編成部長）

4. 議題

1 報告事項 12月の単発番組について（各局長）

2 審議番組 テレビ番組

中部4局共同制作番組「佐藤隆太のおいしい寿司が食べたい」
(放送日時：10月8日(月)午後3時50分～4時45分)

5. 議事の概要

各局長からの2018年12月度番組報告に続いて、テレビ番組「中部4局共同制作番組「佐藤隆太のおいしい寿司が食べたい」（10月8日放送分）について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見・質問～

- 企画主旨に大人向けとあったが、歴史や地域性の紹介があつて意外に知らなかつた事が分かり勉強になつた。佐藤隆太さんと演出が落ち着いていて良かった。
- 大ネタ・小ネタに分けられていたが、小ネタが単なる施設紹介にならず、また県別の紹介にとどまらず静岡と山梨の街道を紹介して繋がりが見えて良かった。逆に長野の飯山の笹寿司と妙高の笹寿司を深掘りして繋げることが出来たら良かったと思った。
- 静岡から始まり山梨のサーモンの所までは、話が繋がつていたのでしつくりきた。しかし、その後の話が繋がらなかつたのが残念だった。
- 寿司に限定するとどうなるかと思ったが、新潟だと発想できないような寿司が出てきたりして単なるグルメ番組でなく旅番組としても楽しめた。各地域の情報を発信する部分では、時間が足りない感じもしたが、コンパクトにまとめていて良かった。
- 静岡から山梨の街道の紹介で江戸時代から続いているイメージだったが、実際に紹介された寿司店の創業が明治だった。何とか江戸時代に創業したお店を探すことは出来なかつたのか？
- 寿司を通して各地域の歴史や文化を伝えていたのが良かった。
- 4局の話をつなげる事に苦労されたと思う。佐藤隆太のキャスティングは良かったが、演技をされていた部分もあった。新潟の“極み”は、何故あの糸魚川の店だったのかと思った。
- 肩の凝らない厭きのこない良い番組だった。それぞれにうんちくや食文化が入つていて、興味深く見ることが出来た。
- 番組の最後に番組ホームページで取材したお店を紹介すると言つていたが、ホームページを見つける事が出来なかつた。

～新潟放送 テレビ制作部 平澤正プロデューサーから～

- 貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。放送が祝日の午後でしたので、肩の凝らない番組にしようと思って作りました。4局がそれぞれ作ったパートをまとめるのが難しいところでした。飯山の笹寿司は、長野の小ネタと言うことで、幹事局として長野のネタを奪う恐れがあると気を使つてしましました。また、飯山と妙高の笹寿司についての検証・深掘りが出来ていませんでした。組立て構成としては、各局とのネタ会議を経て、静岡→山梨→長野→新潟との流れになり、新潟が最後になるので、新潟のパートを見てもらう為に小ネタで繋ぎました。糸魚川のお店を選んだ理由としては、各局から日本海の魚が見たいとの要望があり上越地区でも自身魚が獲れる点とロケの都合です。新潟と長野のパートを1日で撮影していて、午前中が長野県の松本だったので、佐藤さんの移動時間等を考えて寿司組合にも相談して糸魚川のお店をセレクトしました。番組ホームページは、単発番組だったので放送後1週間で閉じていました。番組ホームページの掲載期間につきましては、改めて検討いたします。ご指摘を参考に、今後の番組作りに役立てていきたいと思います。本日はありがとうございます。